

平成23年6月19日（日）

## 第1回「森林アクティビティ講座」開講

6月19日（日）、「森林アクティビティ講座」を雷別国有林で行いました。森林アクティビティ講座とは、森林の整備や保全に関わる活動を行ってみたいと考えている方々を支援し森林への理解を広げてもらうため、国有林をフィールドとした森林ボランティア作業の実施や体験、森林生物の観察や調査、森林の保全活動、森林レクリエーションなどの各種アクティビティを実施するものです。

第1回となる今回は、「シードトラップ設置と遊歩道の整備」と「野草の観察会」を実施しました。

シードトラップ設置では、自然再生事業で使用する苗木を育てるため、ハルニレの木の下に20枚ほど設置しました。また、隣接する自然再生事業地の実験区内にも、種子の飛来調査用のシードトラップを9枚設置しました。遊歩道の整備では、歩道上に生えてきたミズナラやシラカンバの稚幼樹を雑草と一緒に刈払わないよう注意して行いました。



シードトラップの設置

「野草の観察会」では、環境コンサルタント株式会社で主に環境調査、植物調査を担当している田村氏を講師に招き、刈り払った遊歩道で野草類の観察を行っ



たあと、普段目にする  
ことがない「フキとフ  
キノトウ」の地下茎や、  
「オオウバユリ」の根  
の様子などの観察も行  
いました。

野草の観察会の様子